



2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月14日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 東
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平毅
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼執行役員管理本部長 (氏名) 松本邦泰 (TEL) 06(6338)8331
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	4,489	△34.2	△779	—	△754	—	△885	—
2020年2月期第2四半期	6,821	2.4	124	22.9	149	19.1	99	156.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	△289.18	—
2020年2月期第2四半期	32.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	7,183	3,175	44.2
2020年2月期	7,124	4,093	57.5

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 3,175百万円 2020年2月期 4,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において2021年2月期の期末配当予想については未定です。

3. 2021年2月期の業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、当該理由につきましては、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期2Q	3,660,400株	2020年2月期	3,660,400株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	598,479株	2020年2月期	598,479株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期2Q	3,061,921株	2020年2月期2Q	3,060,721株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今般の新型コロナウイルス感染症が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の合理的な見積りが困難なことから、今回の業績予想を未定といたします。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、4月に政府より緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出や営業活動の自粛により経済活動が抑制され個人消費は大きく落ち込みました。5月に緊急事態宣言が解除されたものの外出自粛の継続により景気は急速に悪化しております。

外食産業におきましては、店舗においてソーシャルディスタンス（社会的距離）による客席数の減少や、営業時間の短縮、休業を余儀なくされるなど厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社は、売上高が急激に減少する中、新型コロナウイルスの感染症拡大防止に努めながら従業員の労働時間の短縮、役員報酬の減額、雇用調整助成金の取得、設備投資抑制による資産の圧縮、金融機関からの資金の調達など事業活動継続のための施策を実施してまいりました。

並行して、一汁三菜をコンセプトに旬の素材を使った定食業態「街かど屋」及びできたてメニューにこだわったカフェテリア業態「ザめしや」等の既存店舗の強化と不採算店舗の撤退を進めております。また、業態ごとに季節に応じた期間限定メニューを導入しております。「ザめしや」ではうなぎまぶしごはんや手延素麺掛保乃糸等を販売し、「街かど屋」では牛ロース焼肉定食や590円日替わりランチ等を販売し、「めしや食堂」ではザめしやのメニューでもある惣菜各種を販売し、各業態手作り弁当のテイクアウトを開始しました。「讃岐製麺」ではすだちおろしの牛肉ぶっかけうどん等を販売した他、麺類、丼メニューのテイクアウトを開始しました。

当第2四半期累計期間の店舗展開につきましては、閉店が8店舗となった結果、店舗数は119店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は4,489,617千円（前年同四半期比 34.2%減）、営業損失は779,591千円（前年同四半期は営業利益124,078千円）、経常損失は754,102千円（前年同四半期は経常利益149,210千円）、四半期純損失は885,443千円（前年同四半期は四半期純利益99,752千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により4,379,707千円（前事業年度末は4,212,118千円）となりました。主な要因は、金融機関からの借入金の増加によるものであります。有形固定資産は、店舗設備の減損損失による特別損失の計上や減価償却が進んだことで1,198,791千円（前事業年度末は1,291,632千円）、投資その他の資産は、差入保証金の減少等により1,510,061千円（前事業年度末は1,519,416千円）となり、資産の部合計は、7,183,651千円（前事業年度末は7,124,863千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、買掛金の減少等により1,541,124千円（前事業年度末は2,135,612千円）となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により2,466,725千円（前事業年度末は895,410千円）となり、負債の部合計は4,007,850千円（前事業年度末は3,031,022千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の減少等により3,175,801千円（前事業年度末は4,093,840千円）となりました。これにより、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は44.2%（前事業年度末は57.5%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期においても収益力の向上を計画しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国内の外出自粛による消費マインドの低下や、店舗において営業時間の短縮や休業を余儀なくされるなど厳しい経営環境が続いております。現時点において売上高及び来店客数の減少が生じており、国内外の感染拡大による消費活動の停滞がいつまで続くのか見通すことが難しく、業績への影響規模についても予想することが困難であると判断し、2021年2月期の業績予想は現段階では未定とさせていただきます。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,806,312	4,033,689
売掛金	24,672	22,653
商品	234	209
原材料及び貯蔵品	60,311	51,841
その他	320,586	271,312
流動資産合計	4,212,118	4,379,707
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,113,420	1,043,156
その他	178,212	155,635
有形固定資産合計	1,291,632	1,198,791
無形固定資産	101,696	95,090
投資その他の資産		
差入保証金	841,965	816,357
繰延税金資産	367,280	389,249
その他	310,680	304,965
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,519,416	1,510,061
固定資産合計	2,912,744	2,803,944
資産合計	7,124,863	7,183,651
負債の部		
流動負債		
買掛金	731,045	303,934
1年内返済予定の長期借入金	72,902	470,588
未払法人税等	90,783	49,425
賞与引当金	112,519	8,310
その他	1,128,361	708,865
流動負債合計	2,135,612	1,541,124
固定負債		
長期借入金	72,269	1,632,158
長期預り保証金	50,555	45,597
退職給付引当金	527,439	550,927
役員退職慰労引当金	50,848	52,947
その他	194,297	185,094
固定負債合計	895,410	2,466,725
負債合計	3,031,022	4,007,850

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	872,081	△45,958
自己株式	△154,293	△154,293
株主資本合計	4,093,840	3,175,801
純資産合計	4,093,840	3,175,801
負債純資産合計	7,124,863	7,183,651

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	6,821,884	4,489,617
売上原価	2,206,608	1,480,652
売上総利益	4,615,276	3,008,965
販売費及び一般管理費	4,491,197	3,788,556
営業利益又は営業損失(△)	124,078	△779,591
営業外収益		
受取利息	1,769	2,054
有価証券利息	788	788
受取家賃	55,057	47,881
その他	25,920	26,881
営業外収益合計	83,535	77,605
営業外費用		
支払利息	1,244	3,664
賃貸収入原価	52,182	45,652
その他	4,976	2,799
営業外費用合計	58,403	52,117
経常利益又は経常損失(△)	149,210	△754,102
特別利益		
固定資産売却益	—	6,363
受取補償金	37,500	2,000
助成金収入	—	56,388
特別利益合計	37,500	64,752
特別損失		
有形固定資産除却損	6,146	16,553
減損損失	9,763	79,595
店舗閉鎖損失	—	25,463
店舗臨時休業等による損失	—	64,779
その他	—	11,750
特別損失合計	15,910	198,141
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	170,800	△887,491
法人税等	71,047	△2,047
四半期純利益又は四半期純損失(△)	99,752	△885,443

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、来店客数の減少や営業時間の短縮により売上が減少していましたが、緊急事態宣言解除後は、一定の回復が見られております。このような状況のなか、第1四半期累計期間においては、その後も引続き来店客数は徐々に回復し、当事業年度下期には、感染拡大前の水準まで回復するとの前提で、各種の会計上の見積りを行ってまいりました。

しかし、第2四半期累計期間の実績が確定し、これらを踏まえて新型コロナウイルス感染症拡大の影響について再検討を行った結果、本格的な回復は、2023年2月期以降となるとの見直しを行いました。

このため、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性の会計上の見積りについては、上記仮定を前提に必要な見直しを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が今後長期化した場合や深刻化した場合には、将来において損失が発生する可能性があります。